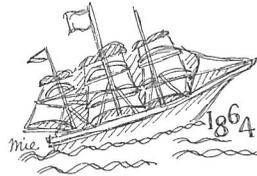


# DOSHISHA REPORT



## 法人部

### ●第14回国際交流に関するエッセイコン

#### テスト表彰式

1月28日

同志社国際主義教育委員会が国際交流プログラムの一環として、国際交流に関するエッセイを法人内各学校の学生・生徒から募り、国際交流や国際問題に関する考えを発表する機会として実施している。第14回目となる2009年度は、日本語部門16点（大学生の部9点、高校生の部5点、中学生の部2点）、英語部門

146点（大学生の部4点、高校生の部95点、中学生の部47点）の作品応募があった。審査委員会の厳正な審査により受賞者を決定し、大学クラーク記念館クラーク・チャペルにおいて表彰式を行った。日本語部門、英語部門それぞれの最優秀賞、優秀賞、佳作の受賞者に対して、大谷實総長から表彰状と副賞を授与した。

### ●2009年度同志社総長賞表彰式

3月27日

同志社総長賞は、本法人がスポーツ活動および文化活動の国際大会、国際コンクール等において入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童、園児に対して、総長がこれを顕彰することを目的として2003年度から設けた。

2009年度は、大学長からの推薦で5人の受賞者を決定し、表彰式を大学神学館礼拝堂で行った。大谷實総長の式辞、野本真也理事長の祝辞の後、大谷総長から受賞者にそれぞれ表彰状と副賞を授与した。

### ●2009年度退社式

3月31日

大学神学館礼拝堂において退社式を挙行した。退社式は、2009年度から初

めて法人の式典として執り行ったもので、2009年度退職者33人のうち、21人の参加があった。前奏に始まり、讚美歌斉唱、原大谷キリスト教文化センター所長の聖書朗読ならびに祈禱に続き、大谷實総長、野本真也理事長からの感謝のことがあった。その後、永年本法人の教育研究充実のため大いに貢献された方々の功労に対し、本法人を代表して、野本理事長から感謝状が送られた。最後に、野本理事長の祝福で退社式を終了した。

### ●第5回同志社キリスト教教育講演会

3月31日

新入社員を対象に、同志社の建学の精神、同志社の歴史、同志社のキリスト教主義等を理解する機会を提供することを目的として、大谷實総長と本井康博大学神学部教授を講師とし、大学寒梅館で同志社キリスト教教育講演会を開催した。大谷総長は「同志社の教学理念と教学体制」、本井康博大学神学部教授は、「志を継ぐー同志社が同志社であるためにー」を演題に講演した。新入社員はもとより、出席者は改めて同志社の建学の精神等に関心を馳せ、有意義な時間を過ごした。

## ●2010年度入社式

4月3日

大学神学館礼拝堂において入社式を挙行した。本年度の採用は、大学教員54人、女子大学教員17人、中学校・高等学校教員3人、香里中学校・高等学校教員2人、女子中学校・高等学校教員2人、大学職員11人、女子大学職員2人の計91人である。大谷實総長と野本真也理事長が歓迎のことばを述べ、野本理事長が一人ひとりに辞令を手渡した。

## ●2010年春の叙勲

大学名誉教授の島 弘氏、薬師川虹一氏、女子大学名誉教授の有賀のゆり氏が瑞宝中綬章を、大学名誉教授の中村 弘氏が瑞宝小綬章を受章し、5月11日国立劇場大劇場において伝達式が行われた。

## ●同志社創立135周年記念「新島襄と同志社」

5月26～31日

5月26日から31日までの期間、大丸京都店6階多目的ホールにおいて、同志社創立135周年記念「新島襄と同志社」を開催し、約6,000人の来場者があった。新島襄の生涯と同志社英学校から現在までの同志社の歴史を遺品、遺墨、書簡、日記、ノート類、説教、文書、軸

物、絵画等の各種資料および写真パネルを用いて展示し、新島襄と同志社の伝統

と理念について広く理解を深められるように、同志社の建学の精神を一覧できる展示と、開催期間中を通して様々な行事を催した。29日には大谷實総長が「同志社の教学理念」と題し、30日には八田英二大学長が「同志社大学の改革―2013年に向けて―」と題した講演を行った。また、法人内各学校による合同学校説明会も開催した。

多数の来場者に対し、新島襄の志、同志社建学の理念を感じとっていた良き機会となった。

## ●同志社創立135周年記念「函館新島講座」

6月13日

新島襄脱国の地である函館市の函館国際ホテル鳳凰の間において、「函館新島講座」を開催した。創立者新島襄は海外渡航が禁止されていた幕末の1864年6月14日に箱館（明治2年より「函館」と改称）から渡米。開会にあたり、新島が江戸から箱館へ渡った際に乗船した洋式帆船「快風丸」の復元模型を学校法人同志社から函館市の西尾正範市長に贈呈

した。

大谷實総長からは「同志社の良心教育」と題して、同志社の教学の理念である「良心教育」について講演があり、野本真也理事長からは、「新島襄の志」を演題に、憂国の情から海外の地に思いを馳せ、国禁を犯してまでも脱出した新島襄の志について講演があった。

また、北海道函館水産高校の生徒達による、寸劇「新島襄と仲間たち」が演じられた。

当日は、卒業生、校友、地元の方々を中心に約220人が参加して講演に聞き入り、盛況のうちに講座を終えた。

## ●第3回同志社研修・交流会

6月30日

建学の精神、教育理念を同じくする法人内各学校の教職員の研修と交流を進め、連携強化を図ることを目的として実施している。第3回目となる今年度は大学尋真館において基調講演の後、初めて分科会方式での研修を行った。研修会には約200人の参加があり、「PBL (Project-Based Learning) や「貫教育」と題した山田和人大学PBL推進支援センター長の講演や、分科会報告のあった各学校

の取組みについて理解を深めるとともに、交流会では日頃接することの少ない各学  
校教職員が交流する意義深い機会となっ  
た。

## 大学

### ●商学部創立60周年記念講演会

1月15日  
商学部創立60周年を記念し、太田進一  
商学部教授が「人と学風―学生時代の受  
講体験を通して―」を講演。「変動する  
経済の中での企業戦略―ポイントの成長  
戦略―」をテーマに株式会社ポイント福  
田三千男（69年商学部卒業）会長が講演。

### ●ビジネスフェア in 京たなべ2010

2月25日  
大学ローム記念館にて京田辺市にある  
約50社が新製品や技術を展示アピール。  
ビジネス研究科浜矩子教授が「恐怖ドラ  
マの次のステージ…そこで我々を待ち受  
けるものは？」を特別基調講演。主催は  
京田辺市商工会（工業部会）。同志社大学、  
京田辺市ほかによる共催。

### ●歴史資料館2009年度企画展

「木津川と古寺・祈り―南山城の古代  
寺院」をテーマに2月14日から3月14日  
まで展示。3月6日には講演会「南山城  
の古代寺院」を開催。

### ●第7回楽洛キャンパス開講

3月5～14日  
今出川キャンパスでの「講座」で京都  
の歴史を深く学び、講座で学んだことを  
体験する「学び」の有料イベント。主催  
は京都観学研究会（同志社大学、株式会  
社JTB西日本）。

### ●情報処理学会「優秀教育賞」を受賞

3月9日  
情報処理学会第72回全国大会（会場…  
東京大学）において、理工学部金田重郎  
教授が10年以上にわたる「実社会連携型  
PBL（プロジェクト型教育）」につい  
ての先進性を認められ受賞。

### ●ハーバード大学総長訪問

3月14日  
2007年、大学史上初の女性総長と  
して就任した第28代ドゥルー・ファウス  
ト総長が初来日。八田学長と両校共通の  
課題である国際連携・国際化推進、生命  
医学教育・研究について懇談。

### ●大学院総合政策科学研究科2009年

### 度FD講演会

3月20日  
「地域公共人材育成のための政策現場・  
実践活動からの提言」をテーマに開催。  
国や自治体の政策現場、NPO法人の最  
前線で活躍する講師が実際の取り組みや  
理念を語る。

### ●2010年度新任教員研修会

4月2日  
教育の特色、教育上の留意点、心構え  
など教育・研究活動に必要な最低限の事  
項について、理解を深めるとともに共通  
認識を持つことにより資質の向上や教  
育・研究の質の維持向上を図ることを目  
的としている。

### ●ロシア文化フェスティバル2010

4月14日  
IN JAPAN 同志社大学講演会  
フェスティバルは2006年に日口両  
国の文化芸術の交流を目的にスタートし  
5年目を迎えた。京都でのオーブニング  
セレモニーの一環としてロシア政府の高  
官セルゲイ・ナルイシユキンロシア連邦  
大統領府長官が「ロシア連邦、課題と展  
望」について神学館礼拝堂で講演。

### ●人文科学研究所 第69回公開講演会

5月22日

テーマは「Rakugoと落語―異文化理解と認知心理学の視点から」。同志社礼拝堂において、群馬大学佐藤浩一教授、落語家桂かい枝氏が講演。社会学部井上智義教授と佐藤浩一教授が桂かい枝氏とのインタビューを通し対談。

### ●経済学部公開講演会

6月3日

京田辺キャンパス恵道館において「新たな可能性に挑むく進化する和紙」をテーマに、堀木エリ子氏（株式会社堀木エリ子&アソシエイツ代表取締役）が講演。

### ●障がい学生支援室・教職員研修会

6月17日

富山大学学生支援センター特命准教授吉永崇史氏を招き「発達障害学生への修学支援並びに就職活動支援」の講演を通して研修。

## 女子大学

### ●新入生交流会

4月7日

新入生を歓迎し、京田辺キャンパスにおいて交流会を午前と午後に分けて開催。約1800人も参加があった。この交

流会は、出身地別に分かれた新入生のテーブルに、在学生、教職員、卒業生が加わり交流を深めるのが特徴。全国から集まってきた新入生が、出身地の共通の話題や言葉で交流することにより安心感を得て、一日も早く新しい環境に慣れ、スムーズに大学生活をスタートさせられることを願い企画されている。また出身地別に分かれることにより、学部学科、学年の枠を越えた友人づくりの場になることも期待される。交流会ではチアリーダー部・吹奏楽部による歓迎アトラクションや同志社カレッジソングの指導、同志社女子大学歌の斉唱も行われた。

### ●国際教養学科 文部科学省「質の高い 大学教育推進プログラム」(教育G P)

#### 第3回講演会

5月19日

映画字幕翻訳家の戸田奈津子氏を講師に迎え、京田辺キャンパス新島記念講堂にて開催。「字幕に生きる」というテーマで、映画字幕翻訳の現状や映画技術の変化を例に挙げながら、昨今の変化の激しい世の中において、いかに自分自身を知り、人生を見定めていかなければならないかを話された。来場者は約700人。

本講演会は平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育G P)に選定された、国際教養学科の「1年間の留学を基軸にした高度総合英語教育」の問題を批判的に捉え、日英両言語で論理的コミュニケーション能力を育成する」の取組の一環として開催。

### ●同志社女子大学今出川講座「上田秋成 没後200年祭記念連続講演会 京都で秋成を読む」

6月12、19日

2週にわたり、今出川キャンパス純正館デントンホールにて開催。本講座は日本近世文学会との共催、および京都国立博物館の後援にて実施。飯倉洋一大阪大学大学院文学研究科教授の司会により、第1週目は、木越治上智大学文学部教授が「雨月物語」と「春雨物語」―秋成作品の読みかた―、続いて天野太郎女子大学現代社会学部准教授が「四神相應の地・京都と文学」、中野三敏九州大学名誉教授が「秋成とその時代」と題して講演。第2週目は、狩野博幸大学文化情報学部教授が「秋成と蕪村・応挙・呉春」、続いて廣瀬千紗子本学表象化学学部教授が「秋成と歩く京都」、高田衛東京都立

大学名誉教授が「秋成の人間性」と題して講演。来場者は両日で約550人。一般参加者も多く、「連続講演会」ということで内容も深まり聴講しがいがあつた」という声が寄せられた。

## 中高

### ●同志社中学校・高等学校第II期建設工事竣工式

2年にわたる建設工事を無事に終え、設計監理の香山壽夫建築研究所、施工の株式会社大林組、工事関係者、近隣の方々も含め、300人を超える方々が列席し竣工式を迎えた。岩倉の地に新たなランドマークが誕生したことを確信し、同志社の更なる発展を祈念するひとときを持つことができた。

### ●高等学校 卒業式

3月10日 第62回卒業式を竣工したばかりの宿志館グレイスチャペルで挙行した。新しいチャペルから巣立つ卒業生にとって、一生の思い出となるすばらしい卒業式を執り行うことができた。

### ●高等学校 学校スキー

3月13～16日

39人の参加。スキー9人、ボード30人という構成。今年は例年になく雪が少ないと言われていたが、実習期間中は好天に恵まれて内容的にもレベルの高い実習を行うことができた。

### ●中学校 卒業式

3月19日

同志社礼拝堂での最後の卒業式を無事に執り行うことができた。卒業生、保護者、教職員一同、礼拝堂の空気を全身で受け止め、厳かな式の時間を共有した。

### ●中学校 入学式

4月5日

292人の新入生を迎えて、同志社礼拝堂で入学式を執り行った。

### ●高等学校 入学式

4月8日

349人の新入生を迎えて、宿志館グレイスチャペルで入学式を執り行った。

### ●中学校 3年生HR委員研修会

4月9・10日

同志社びわこリトリートセンターにて、3年生各クラスのHR委員と執行委員生徒が、学園祭をはじめとする1年間の生徒会活動方針を検討した。

### ●中学校 オリエンテーションキャンプ、創立者墓参

4月21～23日

1年生の最初の行事として、4クラス

ずつに分かれて実施した。オリエンテーションキャンプでは同志社について学び、クラスの仲間と飯ごう炊さんを通して仲間づくりのひとつときを持った。創立者墓参では、新島襄の墓前に集い入学の報告をするとともに同志社で学ぶ決意を新たなものにした。

### ●中学校 遠足

4月23日

2年生はユニバーサルスタジオジャパン、3年生は希望が丘文化公園での飯ごう炊さんに出かけた。新しいクラスメイトとともに楽しいひとときを過ごした。

### ●高等学校 遠足

4月30日

好天に恵まれ、各クラスで計画した場所に出かけて飯ごう炊さんやバーベキューを行い、親睦を深めた。1年間の生徒会行事の好スタートとなった。

### ●中学校 演劇鑑賞

6月4日

京都会馆にて『修学旅行』（青年劇場）を鑑賞した。

### ●高等学校 球技大会

6月8日

天候が少し危ぶまれたが、生徒たちの熱気で雨を吹き飛ばして熱戦を繰り広げた。生徒と教師が一体になって応援している姿があちこちで見られた。

●中学校 バレーボール大会 6月17日

梅雨の晴れ間の一日、グラウンドでバレーボール大会を行った。生徒たちの歓声がこだまする楽しく熱気に満ちた一日となった。

●高等学校 団体鑑賞

7月12日  
京都府立文化芸術会館にて『ハナシが  
ちがう!』（劇団ゴロー）を鑑賞した。

●高等学校 1年生クラス合宿

7月15・16日  
1年生8クラスが1泊で研修に出かけた。行き先はクラスごとで異なり、クラス内の親睦をより深め、10月の岩倉祭発表に向けての計画を固めた。

●中学校 由良キャンプ 7月20～28日

宮津市の本校キャンプサイトに2クラスずつ2泊3日のキャンプに出かけた。日本海での遊泳やさまざまなレクリエーション行事を通して、クラスの仲間との友情を深めた。

●中学校 唐松キャンプ

7月20日～8月1日  
信州北アルプス唐松岳の登山キャンプを4期間に分けて行った。2年生の希望生徒が参加し、雄大な大自然を満喫した。

●高等学校 ウェスリー交換留学

7月23日～8月8日  
オーストラリアメルボルンのウェスリーカレッジとの交換留学を行った。参加した生徒には、異文化との体験を通して自らを大きく成長させる糧となった。

香里中高

●始業式

●高2修学旅行

1月8日  
1月25～31日  
今年度から訪問地がハワイからオーストラリアに変わった。当初予定では、3泊はシドニー市内、1泊は郊外の自然の中でということであったが、インフルエンザの影響で、4泊ともシドニー市内で実施した。日本は冬でも、当地では真夏の太陽を浴びて全員真っ黒となった。オペラハウスに見とれ、フェザードル動物園ではコアラとの記念写真、そしてトブロック牧場では羊の毛刈りやブーメラン体験など大自然も満喫した。

●卒業式

3月9日  
3月19日  
高等学校  
中学校

高校生297人、中学生253人の卒業生がそれぞれの希望を胸に巣立った。

●国際交流イベント

3月10日  
英語スピーチコンテストや国際交流芸能祭などを行い、ブラジル人のサンバやモンゴル人の料理教室で交流を深めた。

●又エーバ交流プログラム

3月20～28日  
本校から8人参加。ホームステイをしながらスエーバ中学と交流を行った。

●ボストン交流プログラム

3月26日～4月5日  
ボストンでの英語による授業や市内見学を通して現地の学生との交流を深めるとともに、校祖新島襄の足跡を訪ねて、フィリップスアカデミーやアーモスト大にも足を延ばした。

●入学式

4月9日  
高校生307人、中学生251人の新入生を迎えた。

●新入生オリエンテーション

4月22・23日  
4月22～24日  
高校1年生  
中学1年生  
いずれも初日の大雨で校祖墓参が実施できず後日に延期。高校1年生は、近江

八幡休暇村で宿泊し、カレーづくりや彦根訪問。中学1年生は湯郷温泉に宿泊し、備前焼体験や運動会など、生徒たちは様々な活動を通して友達との仲を深めた。

### ●鑑賞会

中3狂言

4月26日

高2文楽

6月4日

高1新劇

6月24日

### ●高1校祖墓参

オリエンテーション初日予定が大雨のため延期していた墓参を実施した。

5月25日

### ●オープンキャンパス

3000人を超える来校者を迎えた。

5月30日

午前中の聖日礼拝や体験授業、午後からの香真館ステージや各施設見学があった。特に今回は、クラブ体験や見学も行った。吹奏楽部やマンドリン部では楽器を手にとって奏でたり、囲碁将棋部では高校生と王で現役女流プロの部員と対局したり、美術部での似顔絵のプレゼントがあり、またグラウンドや体育館では運動部の練習を見学していた。

### ●フィリップスアカデミー交流プログラム

7月11～31日

4人の留学生を迎え、剣道や書道体験

や蒲郡や白川郷などの交流合宿を行った。

### ●アデレード語学研修

7月26日～8月11日

オーストラリア・アデレードとカナダ・バンクーバーで隔年実施の語学研修で、今年ではアデレードへ。いろいろな授業や体験を通して有意義な期間を過ごした。

## 女子中高

### ●3学期の特別礼拝

・新年礼拝

1月6日

・創立者永眠記念礼拝

1月21日

・創立者生誕記念礼拝

2月12日

・終業式礼拝

3月16日

### ●卒業式

高校卒業式(269人)

2月19日

中学卒業式(247人)

3月17日

### ●修学旅行

中学2年生は3月18日～20日の2泊3日の日程で実施。行き先地は九州・長崎方面。1日目はハウステンボス。2日目は被爆体験者の方の講話を聞いた後、原爆資料館を見学するなど平和学習を体験

した。その後は長崎市内を班別で自主行動。3日目は福岡へ。海の中道マリノワールドを見学した。

高校2年生は3月18日～21日の3泊4日の日程で実施。行き先地は沖縄。1日目は糸満市の平和祈念公園・資料館を見学。その後、講師の先生の講話を聞く。2日目は糸数塚・ひめゆりの塔・首里城などを見学。エイサーも鑑賞した。3日目は東南植物園見学の後、サトウキビ収穫・黒糖作り、琉球舞踊体験などをクラス・班別で体験した。

### ●スキー学舎

3月18～22日

北志賀・竜王スキー場で高校1年生の希望者約1000人を対象に、本校教員の希望の指導によるスキー講習会を実施した。積雪にも恵まれ、最終日には上級者もとより初心者も、鮮やかなシニプールを描いた。

### ●新入生を迎える日

3月25日

校長による奨励の後、宗教教育や授業行事、クラブ活動等についての説明を実施。聖書・讚美歌・「新入生のしおり」等の配布があり、入学前の準備やガイダンス・写真撮影などが行われた。

## ●国際交流ヌエーバ校との交流

3月20～28日  
5月10～14日  
および来校

同志社法人内4中学校のサンフランシスコ・ヌエーバ校への生徒派遣に、本校からは多数の応募者の中から選ばれた6人が参加した。また、5月8日からは5人のヌエーバ校の生徒さんをホームステイで受け入れた。10日からは本校での授業や課外活動にも参加し、大いに交流を深めた。

## ●入学式

4月7日  
中学新入生247人  
高校新入生268人(内、外部生24人)

## ●遠足

5月6日  
中学2年生から高校3年生が、学年ごとにバス遠足を実施。今年度初のクラス親睦の1日を、互いに有意義に過ごした。

## ●中学1年生修養会

5月6日～8日  
兵庫県篠山市のユニトピアささやまにて、今年も「同志社で学ぶ―自分を見つめ、友達を理解して隣人になろう―」を主題に修養会を行った。礼拝と団体生活を通して同志社教育の根幹であるキリスト教主義の教育について学び、また友人

や先生との交流を通して本校で学ぶ意義を考えた。

## ●球技大会

高校生は5月12日、中学生は6月17日に球技大会を実施。バレーボール、ドッジボール、ポルトボール、バスケットボール等に終日、大きな喚声がありました。クラスの絆がいつそう深まった1日であった。

## ●オープンキャンパス

6月27日  
小学生(約750人)、中学生(約80人)とその家族を対象に実施。午前の部、午後の部に分かれ、礼拝のあと授業体験(午前・午後23教室)に参加していただく。また並行して、クラブ活動、および校内の施設見学にも参加していただいた。

## ●芸術鑑賞

6月28日  
京都コンサートホールにて京都市交響楽団によるベートーヴェンの協奏曲、ドヴォルザークの交響曲を鑑賞した。

## ●1学期の特別礼拝

4月22日  
5月13日  
女子部創立記念礼拝  
母の日礼拝  
春季宗教育強調週間特別礼拝

6月7～11日

・花の日礼拝

6月18日  
例年通り、本年も同日午後から、高校1年生は施設訪問に、高校2年生は高齢者福祉講演会に参加した。

## 国際中高

### ●卒業式

3月11日  
3月19日  
高校  
中学

### ●中2・高2研修旅行

3月14日～17日  
中学2年生は長崎、高校2年生は沖縄を3泊4日の日程で訪問。現地で平和学習を行った。

### ●留学プログラム

3月20日～  
アメリカ、中国、フランスそれぞれを訪問する、海外短期留学のプログラムが一斉に実施された。

### ●入寮宣誓式

4月6日  
両親が海外に在住している生徒のために用意された学寮に、新入寮生を迎えた。

### ●入学式

4月6日  
新島記念講堂で中学校、高等学校の入学式が挙行された。

### ●中1宿泊研修・校祖臺参

4月27・28日

同志社で学ぶ意味や建学の精神など、生活面や精神面を中心に学ぶ宿泊研修を、同志社びわこリトリートセンターで実施した。プログラムの最後に若王子山頂にある同志社墓地を訪れ、創立者新島襄の墓前で、入学の報告を行った。

### ●高1宿泊研修・校祖墓参

5月6・7日

同志社で学ぶ意味や建学の精神など、生活面や精神面を中心に学ぶ宿泊研修を実施した。プログラムの最後に若王子山頂にある同志社墓地を訪れ、創立者新島襄の墓前で、入学の報告を行った。

### ●又エバスクール交換プログラム生徒受け入れ

5月8・15日

学内中高合同の行事である、又エバスクール交換プログラムの生徒受け入れを今年度も実施した。本校では10日のウエルカムセレモニーや授業参加。最終日の修了書授与などを行った。

### ●中学遠足

6月3日

1年生は近隣の宇治田原をめぐるコース、2年生は京都嵐山近辺、3年生は山城自然運動公園に出かけた。

6月3日

### ●高校球技大会

バレーボール大会を実施した。

### ●ローレンスビルスクール交換プログラム受け入れ

6月12日～(7月10日)

北米のローレンスビルスクールの留学生を受け入れた。

### ●編入学試験

6月26日

帰国生徒受け入れのための編入学試験を実施した。

### ●編入学式

6月28日

帰国生徒のための7月入学式を実施した。今年度も中学1年生から高校2年生までに渡る新しい仲間を迎えた。

## 小学校

### ●4年スキー宿泊体験学習

1月18～21日

4年生は3泊4日、ハチ高原へスキーの宿泊体験学習に行った。見渡す限り、真っ白な雪に覆われた山々を眺めながらの合宿となった。仲間と励まし合いながら学んだためか、スキーの上達ぶりには目を見張るものがあり、心身ともにたくましくなつて帰ってきた。

### ●創立者永眠記念礼拝

1月23日

若王子での早天祈祷会の後、同志社小学校の全児童、教職員がアリーナに集い創立者永眠記念礼拝をおこなった。創立者の半生を振り返り、新島襄によつて創られたこの同志社で学ぶことができる幸せを感謝と共に祈りとして奉げた。

### ●同志社タイム

宮西達也氏「絵本を語る」 1月21日

吉田道子氏「本を語る」 2月17日

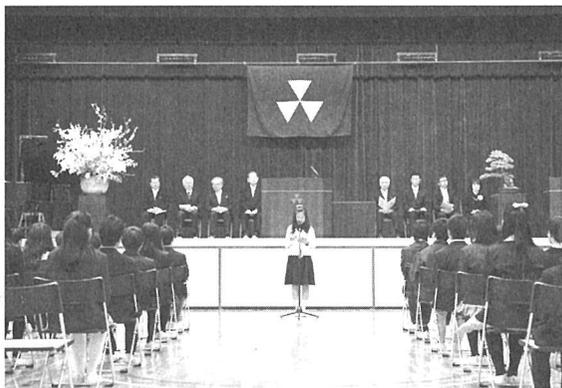
小寺卓也氏「森のいのちのふしぎ」 5月12日

2010年は国民読書年でもあり、本に親しみをもつた子どもたちになつて欲しいとの願いから絵本や児童文学、写真絵本の作家を招き、本のもつ魅力について話を聞いた。本を読む面白さや言葉の持つ奥深さについて学ぶことができた貴重な体験となつたようだ。

### ●卒業式

3月13日

同志社小学校が開校してはじめての卒業式をこの日アリーナで行つた。美しいハンドベルの音色から始まつた卒業式では、落ち着いて、堂々とした動きに卒業生としての成長が感じられ大変感慨深い



卒業生のための送辞

ものとなった。同志社小学校と共に歩んできたこの卒業生の歩みをこれからもずっと見守っていきたい。

### ●入学式

4月10日

家族とともに小学校の門をくぐって登校した新入生は「おめでとうございます」という6年生の元気な声に迎えられる、緊張の表情もニコツとした笑顔に。入学式では担任から一人ひとり名前を呼ばれる



入学式を待つ間、1年生に本の読み聞かせをする6年生

と会場いっぱいには響く元気な声で「はい」。会場は新しい90人の仲間を迎えることができた喜びに溢れていた。

### ●3年宿泊体験学習

6月2～4日

自然に恵まれたハチ高原で過ごした3日間で、子どもたちはアスレチック体験、ナイトハイク、鉢伏山登山、キャンプファイヤー、魚つかみなど普段できない活動を仲間と共に体験することができた。

自分ひとりではできない活動も多く、仲間と協力する大切さや、陰で助けてくださって周りの人への感謝の気持ちを学ぶことができた。

### ●2年宿泊体験学習

6月4・5日

京都市立野外活動施設「花脊山の家」で宿泊体験学習を実施した。バスで施設に直接入所するのではなく、荷物を持ち山を登って入所した。険しい山道であったが、声を掛け合いながら歩き通すことができた。この他にもアスレチックやキャンプファイヤー、ちまき作りなど貴重な体験ができた。子どもたちの成長を感じる宿泊体験学習となった。

### ●6年修学旅行

6月7～15日

新島襄が学んだアーモストやポストンの足跡をたずね修学旅行に行った。アーモスト大学ではマークス学長の歓迎のスピーチ、エリック・カール美術館では読み聞かせや実技指導を受けることができた。ポストン子ども博物館では6年生が合唱や剣玉などを博物館に来た人に教えるなど人と人の交流もすっかりできた。新島先生が学んだ地で多くのことを感じ学ぶことができた。



アーモスト大学にて

## 幼稚園

### ●バプテスト病院訪問

12月1日

クリスマスシーズン恒例となった、バプテスト病院を訪問。年長組園児が降誕劇を演じ、その後入院・入所者と交流をを持った。子どもたちの歌や劇に涙を浮かべて見つめてくださる多くの方々の温か

な眼差しに、子どもたちも応えようと持っている力を発揮する。

### ●いのちの電話チャリティーコンサート

12月6日

女子大学栄光館で行われた「いのちの電話」主催チャリティーコンサートに年中・年長組の有志56人が出演し「讃美歌」等の歌を披露した。

### ●クリスマス礼拝・祝会

12月18日

新島会館にてクリスマス礼拝・祝会を催した。年長組のペリジェント劇に、年中組は聖歌隊として参加した。祝会では年少組が歌を歌い、全園児、会衆の方と共にクリスマスをお祝いする。

### ●同志社小学校との交流会

1月26日

年長組が同志社小学校1年生の教室を訪れ、ゲームや給食の時間を共有。帰り際には別れを惜しみ、春の再会を楽しみに帰途についた。

### ●校祖墓参（年長組）

2月24日

卒園が迫った年長組の子どもたちが、路線バスに分乗し、若王子にある創立者新島襄の墓を訪れ、墓前礼拝を行った。これまで見守られながら成長したことに感謝を捧げるとともに、創立者がど

のような思いで造られたか等の話しを園長から聞く。

### ●卒園お茶会

3月1日

年長児が卒園を記念し、お茶を点て、1年間のお稽古の成果を保護者に披露するお茶会を催した。

### ●卒園礼拝

3月11日

卒園を記念して、同志社礼拝堂において年長児とその保護者が厳かに礼拝をおこなった。

### ●マラソン大会

3月12日

全園児が、秋から積み重ねてきたマラソンの総仕上げとして、鴨川の河川敷を快走。保護者の声援に励まされ、春めいた暖かな日差しの中、一生懸命走る園児の姿が見られた。

### ●卒園式

3月16日

在園児、保護者、教員が共に、園児の卒園をお祝いした。卒園児の答辞と歌声が園のホールに力強く響き渡り、30人が卒園証書を胸に巣立った。

### ●入園式

4月9日

保護者に手を引かれ、新入園児30人が幼稚園に入園。午後1時、在園児の出席に表情も和らぐなか、入園式が行われ

た。

●同志社小学校との交流会

5月25日

4年生が本園を訪れる。幼児と小学生全員で讃美歌を歌った後、グループごとに分かれて、小学生が企画したゲームを園児と共に楽しむ交流を持った。

●未就園児教室

5月13日～7月13日 20回実施

地域の子育て支援の一環として、満3歳児を対象とした親子教室を開く。教員の指導の元、季節の飾り制作や親子触れあい遊び等を楽しむ。

●キャンバスミニコンサート

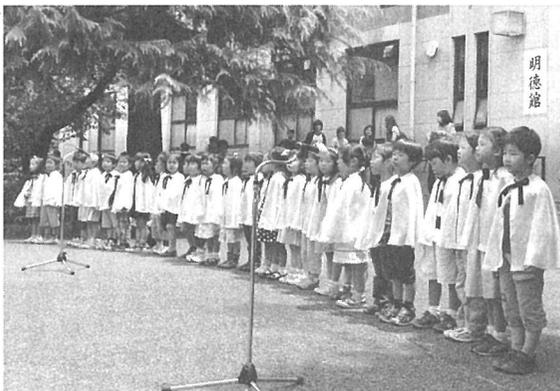
5月31日

Doshisha Spirit Week 2010のプログラムとして、大学キリスト教文化センターの支援を受け、年長園児30人が、大学今出川キャンバス明德館前で教職員、学生に讃美歌等を披露した。園児は、このコンサートを励みに、12曲もの歌を次々と暗譜していった。当日は、晴天に恵まれ、多くの方々の拍手を浴び、自信を胸に、次の成長段階へのステップアップのきっかけとなっている。

●花の日礼拝

6月7日

園児が家庭から花を持参し、美しい



キャンバスミニコンサート

花々を与えてくださった神様への感謝の礼拝を行った。その後、学内や地域の方を訪問して花束をお届けし、日頃の感謝の気持ちを伝えた。